



## 田中正造没後100年平和研修開催



JR東海労新幹線地本は6月9・10日と足尾銅山平和研修を開催しました。東京駅前を出発し渡良瀬遊水地（旧谷中村跡）に向かいました。現地ではJR東日本労働組合大宮地本宇都宮支部のOB大塚さん・小林さん（PMC）のお二人に来ていただき、旧谷中村跡の説明をしていただきました。谷中村がなぜ廃村に追い込まれたのか、また渡良瀬遊水地がなぜハート型になったのかを説明していただきました。その後佐野市郷土博物館・田中正造の旧家を見学し終了後1日目の宇都宮支部OBのガイドお二人と別れ、9日の宿サンレイク草木へと向かいました。サンレイク草木ではJR東日本労働組合大宮地本宇都宮支部執行委員の長尾さんが加わり盛大に懇親会を開催してきました。

10日は足尾銅山観光へ行きトロッコに乗り銅山の中を見学しました。二日目も宇都宮支部OBの星野さん・小室さん（PMC）がガイドとして参加していただき、バスには星野さんが乗り込み旧松木村跡・本山製錬所跡・労働運動の発祥の地の説明などをしていただきました。旧松木村の植樹会場までは遠くから見学するだけにとどまりましたが、昔は「日本のグランドキャニオン」と言われていた山々が植樹する仲間の皆さんの御努力により山々には草や木々が生えて緑になっていることにも驚かされました。

今回の研修は逆からのコースで本来ならば足尾銅山から下ってきての佐野・渡良瀬遊水地と回るのが一般的のコースですとガイドの皆さんに言われましたが、日曜から月曜にかけての設定でしたので、逆からの研修を行いました。